

新年のご挨拶



一般社団法人日本病院薬剤師会
会長 北田 光一 Mitsukazu KITADA

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな気持ちで、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成27年の年頭にあたり、日頃から日本病院薬剤師会（以下、日病薬）の活動にご理解とご協力をいただいております皆様に御礼を申し上げますとともに、新年のご挨拶を申し上げます。

超高齢社会の到来を迎え、医療の質の向上を図りつつ効果的で効率的な医療・介護を提供するために、地域の実情に即した病床の機能分化と連携強化、在宅医療・介護サービスの充実と連携システムの構築、医療従事者等の確保・養成等に向けた取組みが急ピッチで進められております。医療環境が激変するなかにあつて、私たち薬剤師に求められる具体的な業務内容や役割は変化しております。

日病薬としては、的確な薬学的管理・医薬品の適正使用の実践に基づいて個々の患者に対して安全で最適な薬物治療を提供するとともに医療の安全を確保することを基本的な使命として、チーム医療の推進への積極的な取組みに加えて、薬剤管理指導業務にかかわる業務と病棟薬剤業務実施加算にかかわる業務を両輪とした病棟業務の定着に取り組んでいただいているところであります。

平成26年度の診療報酬改定における薬剤関連の改定では、病棟薬剤業務実施加算の制限緩和、がん患者指導管理の充実、外来化学療法の評価の見直し、在宅患者訪問薬剤管理指導の要件統一等がありました。チーム医療のなかでより専門性の高い薬剤師の果たすべき役割も増大しており、責任をもって行動できる特定の専門領域をもち、その専門領域の薬物療法に関して主体的な役割を果たすことができるレベルにあることが必要となっております。チーム医療の一員としての薬剤師の力量、真価が問われています。また、病棟にとどまらず中央診療部門、外来を含めた「薬あるところ」での質の高い薬剤業務を展開し、患者およびほかの医療スタッフから評価される客観的な臨床上のアウトカムをみえる形で積み重ねることがさらなる展開において大事なことであると思っております。医療環境の変化に伴う社会の期待に応えるために、常に薬剤師としての資質向上に努め、各施設において薬に関することについては責任をもってかわり、明確な医療への貢献を介して信頼される存在となることを切に願っております。

さて、本年も引き続いて、課題として「病棟業務の充実」、「チーム医療の推進」、「医療安全の確保」、「客観的エビデンスの蓄積」、「資質の向上」を挙げたいと思います。薬の専門家集団としての自覚と使命感をもって活動してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって明るい希望のある未来へ繋がる1年になることを心から祈念して、新年の挨拶と致します。